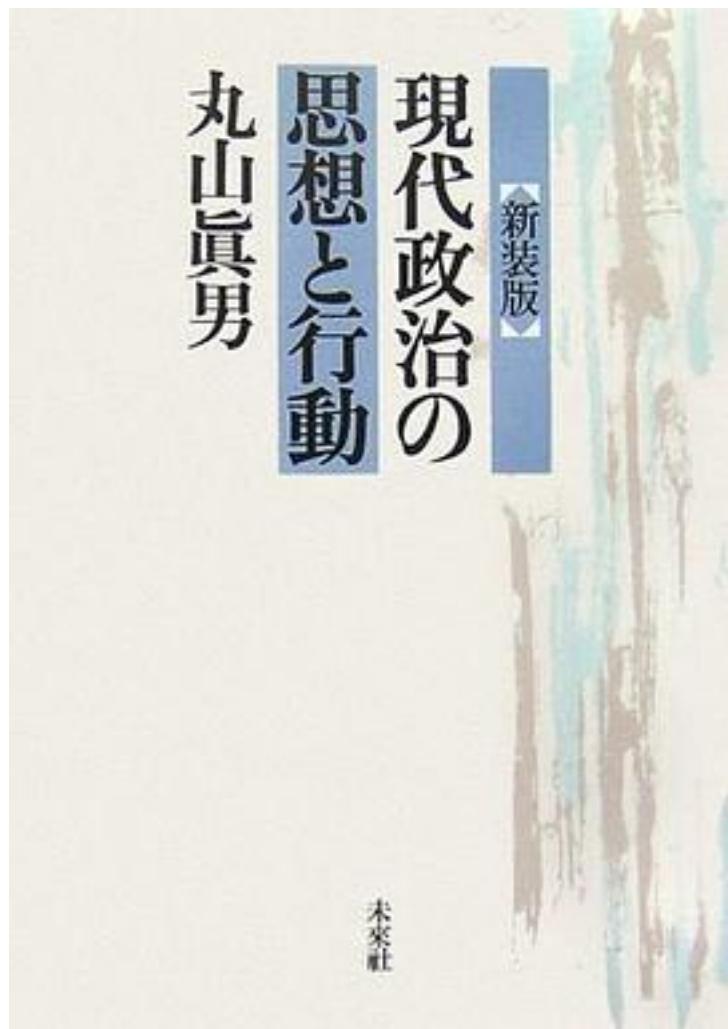


# 現代政治の思想と行動



[現代政治の思想と行動 下载链接1](#)

著者:丸山 真男

出版者:未来社

出版时间:2006-9

装帧:单行本

isbn:9784624301033

出版社/著者からの内容紹介

著者の没後10年を機に、1964年発売の〔増補版〕159刷りを新組・新装カバー装で〔新装版〕として発売することにしました。

戦後日本を代表する政治学者・丸山眞男の『日本政治思想史研究』（東京大学出版会）にならぶ主著であり、「戦後日本社会科学の精神的起點の一つ」（道場親信）と評され、多くの人びとに影響を与えました。三部に分けられ20本の論文が収録されています。各論文は、講演調、書簡体、対話体と、ヴァラエティにとんだ歯切れのよい文体でつづられており大変読みやすく、また著者自身による詳細な「追記および補註」も読者の理解を助けてくれます。第一部には「日本ファシズム」をめぐる論考がおさめられ、特に「超国家主義の論理と心理」の与えたインパクトは大きく、その後の天皇制分析の出発点となり、「軍国支配者の精神形態」では「無責任の体系」というキーワードで日本の支配機構を分析、戦争責任問題の分析への道をひらきました。第二部ではファシズムと同時に共産主義の問題も論じられています。第三部では政治学の基本的な概念を整理した文章がならんでおり、著者自身の時代状況への対応も見ることができます。「現代における人間と政治」では、『独裁者』などチャップリンの映画からときおこし、知識人の役割についての考察を深めています。発表より半世紀経った現在にいたるまで繰り返し読まれ、言及、参照され、論じられる、戦後最深・最長のロングセラーです。

内容（「BOOK」データベースより）

本書は著者が戦後発表した政治学ないしは現代政治の問題に関連する主要な論文を収めた。増補版発行に当り、上下両巻を合本したほか、旧版後記にのべたような編纂趣旨を規準として三論文を新たに追加し、その代り旧版上巻にあった比較的に短い二篇を落した。

作者紹介:

丸山眞男（1914-1996年），日本著名政治思想史学者，东京大学名誉教授，并获美国哈佛大学、普林斯顿大学分别授予名誉法学博士和名誉文学博士。其政治学被日本学界称为“丸山政治学”。著有《日本政治思想史研究》（1952年）、《现代政治的思想与行动》（1956-1957年）、《日本的思想》（1961年）、《忠诚与叛逆——转型期日本的精神状态》（1992年）等。

陈力卫，现为日本成城大学教授，译有《风土》（和辻哲郎著），列入商务印书馆“日本学术文库”出版。他同时为“日本学术文库”主编之一。

目录: 第1部 現代日本政治の精神状況  
超国家主義の論理と心理  
日本ファシズムの思想と運動  
軍国支配者の精神形態 ほか  
第2部 イデオロギーの政治学  
西欧文化と共産主義の対決  
ラスキのロシア革命観とその推移  
ファシズムの諸問題 ほか  
第3部 「政治的なるもの」とその限界  
科学としての政治学  
人間と政治  
肉体文学から肉体政治まで ほか  
・・・・・ (收起)

## 标签

政治学

日本思想史

日本

丸山眞男

政治

丸山真男

日本研究

课本

## 评论

五六十年代的丸山真男真的是战斗力爆表啊，心潮澎湃五体投地(((o(\*°▽°\*)o)))

---

算是过了一遍，就文本而言只读懂了大概70%——写得好啊，要不是那么多词不会念我真想朗诵出来。

## 书评

不久前豆瓣上丸山真男《现代政治的思想与行动》一书终于出现了条目，不少同好奔走相告，感叹“有生之年”终于能看到这本传说中的著作，可喜可贺。多年以来，国内出版界对现当代日本思想家的推介一直处于迟滞的状态，与对欧美前沿学说的热心追捧形成鲜明对比。另一方面，诸如《...

---

《极端国家主义的逻辑与心理》和《军国统治者的精神状态》是两篇令人癫狂的论文，丸山真男在将日本法西斯与德国法西斯（阿伦特的观察）对比的过程中，其实推出了许多乍一看不可思议的论点。比如无责任体制、权力的矮小化、对既成事实的屈服、没有自由主体而只有在前现代的“关...

---

---

---

---

2018年，商务印书馆终于出版了丸山真男的《现代政治的行动与思想》。该书在日本久负盛名，自1964年未来社第一刷发行以来，以至1987年已经是一三三刷，可见其受欢迎程度。丸山的中译本姗姗来迟，但是仍然人充满期待。于是出版之后，我很快就入手译本。商务版的译本由成城大学的...

---

---

---

关于德性与政治这个问题，我想首先阐明各自概念的重要源流与变革，即古希腊和基督教对于二者的看法和马基雅维利对上述两大传统的颠覆，最后考察现代政治语境中两者的关系。关于德性与政治两大古典传统  
在古典世界中，人对于德性都还保留着美好的想象。柏拉图在《理想国》中强...

---

---

丸山真男：一个力求实事求是的自由主义批评家，以及为什么要认真阅读自由主义——  
《现代政治的思想与行动》书评

所谓力求，就是虽然有意识地在努力，但终究还是没能做到。而之所以没能做到，除了个人的能力所限之外，更多的还是要归咎于历史的进程：在一群猪队友的中间，再高明

...

关于“主义”，很多人写过，各种主意满天飞，然鹅，大部分是没有价值的东西，俗话说就是垃圾。最近小余英时（王汎森）的书——《思想是一种生活方式》——很火。其实这个书有点名不副实，因为篇幅最长的似乎是其中谈主义的那一篇。王氏所涉及的主义时代恰恰和丸山真男《现代政...

[現代政治の思想と行動](#) [下载链接1](#)